安全運転教育記録

営業所名	所長	運行管理者
本牧営業所	岩間	山本

実施日	2026 年 10 月 24 日 ～ 25 日
実施場所	本牧営業所　事務所

教育指導の内容

○国土交通省告示第1366号にもとづく安全運転教育

7、適切な運行の経路とその道路交通の状況
第3章　適切な運行経路の選択と経路情報の把握
（事業用トラックドライバー研修テキスト①P77～P80）
1、安全性に配慮した選択
2、経路情報の事前把握

○無呼吸症候群（SAS）について
・SASとは
・SASはなぜ危険なのか

○指示徹底事項（年間）
1、飲酒運転・酒気帯び運転の根絶
2、4時間以上の連続運転禁止・休憩時間の確保
3、デジタコの正確な操作の徹底

実施対象者

別紙：受講者一覧

株式会社共生物流

保管期間：3年間

2026年度　安全運転教育受講者一覧

営業所名：　本牧営業所

10月度　実施日　24 日 ～ 25 日

	氏名	サイン（自署）	＊実施日	時間 開始 ～ 終了	実施者	点数
1	福島　雄三	福島雄三	25 日	10：40 ～ 10：50	山本	100
2	佐々木　啓二	佐々木啓二	24 日	8：30 ～ 8：50	山本	90
3	市川　誠	市川誠	24 日	6：30 ～ 6：40	山本	100
4	武藤　健司	武藤健司	24 日	10：10 ～ 10：20	山本	90
5			日	： ～ ：		
6			日	： ～ ：		
7			日	： ～ ：		
8			日	： ～ ：		
9			日	： ～ ：		
10			日	： ～ ：		
11			日	： ～ ：		
12			日	： ～ ：		
13			日	： ～ ：		
14			日	： ～ ：		
15			日	： ～ ：		
16			日	： ～ ：		
17			日	： ～ ：		
18			日	： ～ ：		
19			日	： ～ ：		
20			日	： ～ ：		

1）教育実施時に使用した資料等を添付して保管すること。
2）評価は、理解度テスト70点以上を良とし、70点未満は個別指導を行う

株式会社共生物流
保管期間：3年間

（国土交通省告示1366号）

2026年　10月 25 日

営業所名　本牧営業所

氏名 [illegible]

安全運転教育　理解度テスト（7）

100

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問	問題		解答
1	1366（7）	安全な運行を行うためには、あらかじめ適切な運行経路を選択し、その経路についての情報を把握しておくことが重要である。	○
2	1366（7）	運行経路の選択にあたっては、到着時間を優先した効率性が一番大切である。	×
3	1366（7）	事故が発生しやすい交差点、ヒヤリハットの多い場所の情報は、ドライバー間で共有化することが大切である。	○
4	1366（7）	より安全な運行ルートの選択とともに、そのルートの道路事情、交通状況、気象状況など、事前に把握できる情報は、運行前に確認することが必要である。	○
5	1366（7）	米国の調査では無呼吸症候群患者の事故率は2.6倍高く、重症度が増すと発生率が高くなる傾向が報告されている	○
6	1366（7）	できる限り「右折」の少ないルートを走行することは、交差点事故を避けるため有効である。	○
7	1366（7）	 この標識は高さ制限の標識であり、表示板に表示された高さを超える高さ（積載した貨物の高さを含む）の車両の通行禁止を示している。	○
8	1366（7）	SASとは、睡眠時に呼吸が止まる病気で、呼吸停止によって体内の酸素が減少し、それにより心拍数が上昇、身体に負担がかかることにより、よい睡眠が取れなくなる。	○
9	1366（7）	 この標識のある道路は、車両総重量が５，５００キログラムの車両の通行はできない。	×
10	1366（7）	セミトレーラが道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」が必要であり、許可された経路以外は通行することができない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

毎日同じ状況ではないので、気持ちにゆとりを持って安全運転に心掛ける

（国土交通省告示1366号）

2026年　10月 24 日

営業所名　本牧営業所

氏名 佐々木 啓二

90

安全運転教育　理解度テスト（7）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問	問題		解答
1	1366（7）	安全な運行を行うためには、あらかじめ適切な運行経路を選択し、その経路についての情報を把握しておくことが重要である。	○
2	1366（7）	運行経路の選択にあたっては、到着時間を優先した効率性が一番大切である。	×
3	1366（7）	事故が発生しやすい交差点、ヒヤリハットの多い場所の情報は、ドライバー間で共有化することが大切である。	○
4	1366（7）	より安全な運行ルートの選択とともに、そのルートの道路事情、交通状況、気象状況など、事前に把握できる情報は、運行前に確認することが必要である。	○
5	1366（7）	米国の調査では無呼吸症候群患者の事故率は2.6倍高く、重症度が増すと発生率が高くなる傾向が報告されている	○
6	1366（7）	できる限り「右折」の少ないルートを走行することは、交差点事故を避けるため有効である。	○
7	1366（7）	 この標識は高さ制限の標識であり、表示板に表示された高さを超える高さ（積載した貨物の高さを含む）の車両の通行禁止を示している。	○
8	1366（7）	SASとは、睡眠時に呼吸が止まる病気で、呼吸停止によって体内の酸素が減少し、それにより心拍数が上昇、身体に負担がかかることにより、よい睡眠が取れなくなる。	○
9	1366（7）	 この標識のある道路は、車両総重量が5，５００キログラムの車両の通行はできない。	○ ✓
10	1366（7）	セミトレーラが道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」が必要であり、許可された経路以外は通行することができない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全運転を心掛ける

（国土交通省告示1366号）

2026年　10月 24 日

営業所名　本牧営業所

氏名 市川 誠

100

安全運転教育　理解度テスト（7）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問	問題		解答
1	1366（7）	安全な運行を行うためには、あらかじめ適切な運行経路を選択し、その経路についての情報を把握しておくことが重要である。	○
2	1366（7）	運行経路の選択にあたっては、到着時間を優先した効率性が一番大切である。	×
3	1366（7）	事故が発生しやすい交差点、ヒヤリハットの多い場所の情報は、ドライバー間で共有化することが大切である。	○
4	1366（7）	より安全な運行ルートの選択とともに、そのルートの道路事情、交通状況、気象状況など、事前に把握できる情報は、運行前に確認することが必要である。	○
5	1366（7）	米国の調査では無呼吸症候群患者の事故率は2.6倍高く、重症度が増すと発生率が高くなる傾向が報告されている	○
6	1366（7）	できる限り「右折」の少ないルートを走行することは、交差点事故を避けるため有効である。	○
7	1366（7）	 この標識は高さ制限の標識であり、表示板に表示された高さを超える高さ（積載した貨物の高さを含む）の車両の通行禁止を示している。	○
8	1366（7）	SASとは、睡眠時に呼吸が止まる病気で、呼吸停止によって体内の酸素が減少し、それにより心拍数が上昇、身体に負担がかかることにより、よい睡眠が取れなくなる。	○
9	1366（7）	 この標識のある道路は、車両総重量が5，５００キログラムの車両の通行はできない。	×
10	1366（7）	セミトレーラが道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」が必要であり、許可された経路以外は通行することができない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全運行に務める。

（国土交通省告示1366号）

2026年　10月 24日

営業所名　本牧営業所

氏名　武藤 健司

90

安全運転教育　理解度テスト（7）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問	問題		解答
1	1366（7）	安全な運行を行うためには、あらかじめ適切な運行経路を選択し、その経路についての情報を把握しておくことが重要である。	○
2	1366（7）	運行経路の選択にあたっては、到着時間を優先した効率性が一番大切である。	×
3	1366（7）	事故が発生しやすい交差点、ヒヤリハットの多い場所の情報は、ドライバー間で共有化することが大切である。	○
4	1366（7）	より安全な運行ルートの選択とともに、そのルートの道路事情、交通状況、気象状況など、事前に把握できる情報は、運行前に確認することが必要である。	○
5	1366（7）	米国の調査では無呼吸症候群患者の事故率は2.6倍高く、重症度が増すと発生率が高くなる傾向が報告されている	○
6	1366（7）	できる限り「右折」の少ないルートを走行することは、交差点事故を避けるため有効である。	○
7	1366（7）	 この標識は高さ制限の標識であり、表示板に表示された高さを超える高さ（積載した貨物の高さを含む）の車両の通行禁止を示している。	○
8	1366（7）	SASとは、睡眠時に呼吸が止まる病気で、呼吸停止によって体内の酸素が減少し、それにより心拍数が上昇、身体に負担がかかることにより、よい睡眠が取れなくなる。	○
9	1366（7）	 この標識のある道路は、車両総重量が5，５００キログラムの車両の通行はできない。	×
10	1366（7）	セミトレーラが道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」が必要であり、許可された経路以外は通行することができない。	×

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

体調管理に気をつけましょう

（国土交通省告示1366号）　　2026年　10月　日

営業所名　本牧営業所

氏　名

安全運転教育　理解度テスト（7）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問	問題		解答
1	1366（7）	安全な運行を行うためには、あらかじめ適切な運行経路を選択し、その経路についての情報を把握しておくことが重要である。	○
2	1366（7）	運行経路の選択にあたっては、到着時間を優先した効率性が一番大切である。	×
3	1366（7）	事故が発生しやすい交差点、ヒヤリハットの多い場所の情報は、ドライバー間で共有化することが大切である。	○
4	1366（7）	より安全な運行ルートの選択とともに、そのルートの道路事情、交通状況、気象状況など、事前に把握できる情報は、運行前に確認することが必要である。	○
5	1366（7）	米国の調査では、無呼吸症候群患者の事故率は2.6倍高く、重症度が増すと発生率が高くなる傾向が報告されている	○
6	1366（7）	できる限り「右折」の少ないルートを走行することは、交差点事故を避けるため有効である。	○
7	1366（7）	 この標識は高さ制限の標識であり、表示板に表示された高さを超える高さ（積載した貨物の高さを含む）の車両の通行禁止を示している。	○
8	1366（7）	SASとは、睡眠時に呼吸が止まる病気で、呼吸停止によって体内の酸素が減少し、それにより心拍数が上昇、身体に負担がかかることにより、よい睡眠が取れなくなる。	○
9	1366（7）	 この標識のある道路は、車両総重量が5，５００キログラムの車両の通行はできない。（この標識は5,500㎏を超える車両を規制しています）	×
10	1366（7）	セミトレーラが道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」が必要であり、許可された経路以外は通行することができない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。